

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	斑鳩町		地区名	JR法隆寺駅周辺地区			面積	270ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	775百万円	国費率	0.342				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	地域生活基盤施設(観光案内板整備)、高質空間形成施設(駅前広場整備用地取得、駅前広場整備、公衆トイレ改修、QRコード貼付)、既存建造物活用事業(文化財活用センター整備)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(交番用地取得、観光案内所整備、観光パンフレット作成、文化財活用センター整備)、事業活用調査(文化財活用センターの発掘)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(駅前広場整備用地取得)			要素の変更による			影響なし			
			提案事業	-			-			-			
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	JR法隆寺駅乗降客数	人/日	19,000	H18	20,000	H22		17,700	△	あり	計画期間内に目標値は達成しなかったが、計画以前の乗降客数の推移から判断すると事業による一定の効果は発現していると考えられる。	平成23年6月
	指標2	QRコード利用回数	回/年	0	-	6,200	H22		2,280	×	あり	目標値は達成しなかったが、平成21年度と平成22年度の同時期のアクセス数を比較したところ、増加傾向にあることから今後も増加すると推測される。	平成23年4月
指標3	文化財活用センター利用者数	人/年	0	-	6,200	H22		9,300	○	あり	史跡藤ノ木古墳の整備完了後、引き続き当センターの整備を行ったことで、特に当町の歴史や文化に関心をもつ方々が予想より多く来館されたと考えられる。	平成23年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	観光客数	万人/年	68	H16				119			本事業だけでなく、他地区の事業との相乗効果もあり、観光客数の増加に反映されたと考えられる。	平成23年6月
4)定性的な効果発現状況	駅前広場の整備や駅舎構上化事業に伴い、施設のバリアフリー化を図り、利用者から便利になったとの声を聞くことができた。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	整備後の住民参加を取り入れた活動(JR法隆寺駅前広場の清掃ボランティア活動、斑鳩文化財センターの受付・解説)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	当初見込んでいなかった住民との協働管理を行うことができ、今後も同様に取組む。	